



美濃はつらつ通信



ヒカン桜(緋寒桜)(河内下・石橋松夫さん宅)

世帯数	160世帯
人口	355人
男	164人
女	191人
高齢化率	48.1%
(2月末現在)	

美濃地区振興センター・美濃公民館

美濃地町イ140-1 ☎29-0031

【しまね女性ファンド事業】

「ひまわり収穫祭」にぎやかに開催!

種蒔きから草取り、開花、そして種の収穫と昨年1年かけて行ってきたジャスミンの会(竹内洋子会長・20人)のヒマワリ栽培の集大成ともいえる「ひまわり収穫祭」が3月5日、美濃ふれあいサロンでにぎやかに開催されました。

今回の目玉はヒマワリの種から搾ったヒマワリ油を使った山菜天ぷらや菓子の試食。食後感がさらっとしているのがヒマワリ油の特長とされ、地区内外から来場した人たちは竹の子やセリ、フキノトウなど春一番の山菜やドーナツの揚げたてを美味しく味わっていました。この日の来場は約130人。



ヒマワリ油で山菜などを揚げるジャスミンの会のメンバー



地元野菜や加工食品も完売



若い人たちによる餅つき。出来上がった草餅は瞬く間に売れ切れ



催しに合わせ巡回バスを試験運行

サロンの縁側で一息



「春だよ! 子供まつり」開催

好天に恵まれた3月12日、子どもの遊びを通して美濃地区を広く知ってもらおうと、豊田良久さんを代表とする地元有志が、コマ回しや缶釣り、花モチづくりなどを楽しむ初の「子供まつり」を開催しました。会場とな

った憩いの広場では地元だけでなく、周辺地域からも親子連れが多く訪れ、ユニークな遊びや模擬店などを楽しみました。



華やかな雛人形の展示



もんじょ 門所山中に残る“有福氏の墓所”

—下城九郎・門所—

今から約8百年前。元暦元年（1184）鎌倉幕府の命で押領使として城九郎に赴任した有福氏は、着任後間もなく熊野神社とその社務所“黒笠山永国寺”を下城九郎（門所）にある山の中腹に建てました。寺の開基にこの場所が選ばれたのは、朝柄城の東北にあたることから当時しばしば見られた陰陽道思想に基づく鬼門鎮護のために仏寺を創建したことが窺えます。

寺跡から少し上がって古い墓地を数段過ぎた場所に、数百年の時を経て静寂に包まれるように有福氏の墓所と伝えられる「殿様の墓」がありました。

昭和初期には東西約5㍍、南北約2㍍の石囲いの中に4基の墓碑が残っていたそうですが、昭和15年と29年の発掘により残念ながら旧状は失われています。しかし明らかに地の石と異なる石片や小さな石造物が確認でき、地元の言い伝えを裏付けています。有福氏が益田氏と共に須佐に移ってから4百年余り。有福氏に関しての記録は今のところ熊野三所権現社記と益田氏文書にわずか見るのみで、その実態はほとんどわかっていません。4百年余りに亘って、連綿と城九郎の地に栄えた痕跡は随所に残り、存在した証を語りかけてくるようです。



↑ 永国寺跡上の山の中に残る有福氏の墓所

礎石で四角に囲われた墓と思われる跡

墓所に残る石造物



ご卒業おめでとうございます！ 中西小学校



大庭 晴暉さん



中島 綾音さん



中島 里彩さん



米元 千尋さん

中西中学校

お知らせ

先月号から「はつらつ通信」に美濃地区の紋章を入れています。

これは平成4年に地区文化祭で地区民から応募のあった22点の中から、来場者の投票で選ばれた田中智さんの作品。「み」と「の」を組み合わせさせてデザインされ、地区の飛躍と発展の願いが込められています。

4月の行事予定

- ◆ 6日（木）益田警察署猟銃検査 13：30～
- ◆ 7日（金）振興センター・公民館運営委員会、自治会長会議 19：30～
- ◆ 10日（月）交通安全街頭指導（河野商店前）
- ◆ 11日（火）中西小・中学校入学式
- ◆ 13日（木）島根・山口合同検問 14：00～
ゆとりパークたまがわ
- ◆ 17日（月）地区社協協議員会・地区青少協総会 19：00～
- ◆ 20日（木）いきいきクラブ総会 10：30～
- ◆ 24日（月）遺族会支部役員会 10：30～
- ◆ 26日（水）「認知症の人と家族の会益田地区」相談会 10：00～12：00

4月の診療予定

火曜日	木曜日
	6日 村野医院
11日 神崎内科	13日 林医院
	20日 中島クリニック
25日 神崎内科	27日 澄川クリニック

診療時間 13：30～